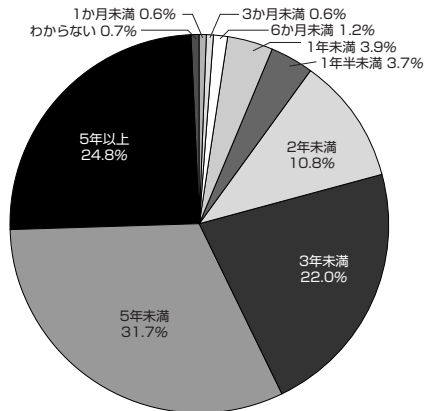
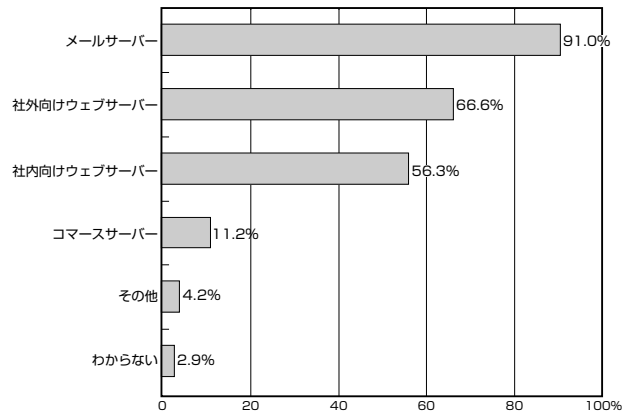


資料1-4-5 インターネット利用歴 N=1487



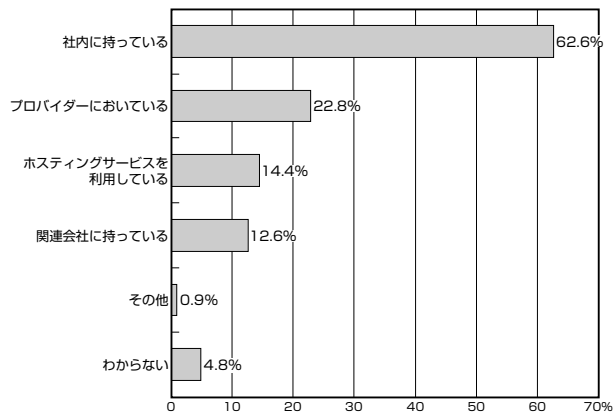
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-4-6 現在利用中のサーバー形態 N=1487



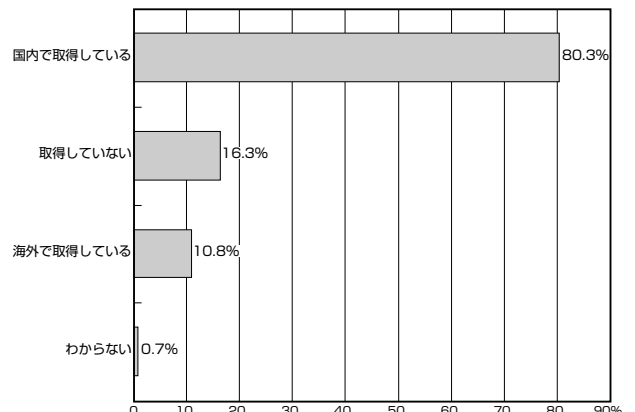
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-4-7 サーバーの所有状況 N=1487



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-4-8 ドメイン取得状況 N=1487



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

解説

インターネットの利用歴については「3年以上5年未満」が最も多く31.7%を占める（資料1-4-5）。5年以上を含む利用歴3年以上の合計が半数を超えているが、インターネットの歴史と共に利用歴は長くなっている。また、従業員規模別でみると5000人以上の企業で利用歴「5年以上」が4割を超えている。

利用中のサーバーの形態については今年新たに掲載する項目であるが、メールサーバーの利用が91.0%と最も高い。ホームページの運用を含む「社外向けウェブサーバー」が66.6%で2番目に高くなっているが、エレクトリックコマース（EC）に期待が高まる中で、現在コマースサーバーを利用している企業は11.2%にすぎない（資料1-4-6）。

サーバーの所有状況では「社内に持っている」（62.6%）が最も多く、昨年（41.6%）と比較すると自社内で運用する企業が

大幅に増加していることがわかる（資料1-4-7）。従業員規模別では100人未満の企業で「ホスティングサービス」や「プロバイダーにおいている」比率が高いが、大規模企業を中心に利用歴が長くなった分、運用スキルも上がったと考えられ、社内で管理・運用する傾向が見られる。サーバーを社内に置いている場合の平均設置台数は6.2台であった。

国内外を含めドメインの取得は増加傾向にあり、国内取得が80.3%、海外での取得も10.8%となった（資料1-4-8）。従業員規模別でみると5000人以上の大企業と50人未満の小企業における両極で海外での取得率が高くなっている。

（矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社）



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp